

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター「すまいる」				公表日		2026年 1月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	<ul style="list-style-type: none"> 運動の部屋の大人の人数が多すぎるため、改善が必要と感じ、グループによっては廊下から保護者に見てもらおうなどの工夫をしている。 グループの使用時間が被らないようにプログラムの工夫を行っています。 2歳児、3歳児クラスの部屋が定員に対して狭く感じる時があるため、状況に合わせてスペースの確保出来るように工夫をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の部屋が狭く感じるため、2つのグループが同じ時間の使用にならないようにプログラムの工夫をしていますが、状況に合わせてスタッフ配置を工夫するなど安全面も確保しながら活動しやすいスペースの確保ができるようにします。 人数や活動に応じて、構造化をしていながら状況に応じて工夫していきます。 			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	<ul style="list-style-type: none"> 利用に対して職員が多いと感じるグループもあるが、足りないと感じる場合もあるため役割分担やスタッフ配置など、その日の利用状況に合わせたスタッフ配置が出来るように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席が多い日はスタッフが多く感じますが、子どもの様子等によっては少ないと感じる時もあるため、役割分担したりスタッフ間での連携を取りながら進めていくようにします。 			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 物理的構造化、視覚的構造化はできているが個々にあった工夫は今後もしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、こどもたちに分かりやすい環境を整えていきます。 			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ひきつづき、療育後には換気と掃除を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> フローリングなので、毎回クイックルで拭いていてもホコリが目立つため、エアコンも含め清潔な空間を常に意識出来るように努めます。 			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 活動の室内に仕切り等を使って個別スペースを作ったり、個人のワークスペースなどを活用し、必要に応じて個別の空間で過ごせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 部屋が空いていない時もあるため、仕切りや可能なスペースを作って一時的な個別の空間になる時もあります。 			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 毎回、療育前と療育後にはカンファレンスを行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来ている時とそうでない時があるため、今後は更に意識しながら進めていきます。 			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 気付いた時にスタッフ間で話し合うようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務に追われて、意識が薄れがちなので継続して振り返りを実施していきます。 			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善が必要な時には、話し合いの場を設けるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 活発な意見交換ができればいいと思います。 			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 最初の入り口で、視覚的に事業説明されているのは改善点だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果を踏まえて、業務改善に繋げていけるように努めます。 			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 受講回数など平等に受けて貰えるように考えてもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、職員の資質向上を図る為の研修に参加していきます。 			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 支援者にとっても段階に応じた支援を分かりやすく見えるかたちに工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 作成・公表しています。 			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 時間をかけて、しっかりとアセスメントを行い親の願い、本人の願いを大事にこどもの特性や発達段階等を踏まえた計画になるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで児童発達支援計画を作成するように努めます。 			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 担当者と課題等について話をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援会議の充実を図りたいと思います。 			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	・支援計画にあげた目標や支援内容を意識しながら支援できるようカンファレンスの時に十分ではないが共有するようにしています。	・カンファレンスの際にグループスタッフ間で共有して計画に沿った支援を行っていますが、自分の担当以外の子の計画を見る機会が少ないため改善していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・アセスメントシートを最初だけでなく上手く活用していけたらと思います。	・フォーマル、インフォーマル両方使いながらこどもの適応行動の状況を確認できる仕組みをつくっていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・児童発達支援計画には、ガイドラインに示されたの項目の記載をしている。 ・アセスメントでニーズ把握し、具体的な支援内容を載せるようにしています。	・引き続き、しっかりとニーズ把握と本人の支援に必要な項目を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・チームで話し合いするように努めています。	・引き続き、チームで連携していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・前回の様子や状況を踏まえて、工夫はしています。	・固定になりがちなので、その都度必要な支援を考えていきたいと思います。 ・新たな内容、活動をスタッフ間で相談、作成できる時間が取りにくいのが課題と感じます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・意識をして立案しているが、十分でない時もあると思います。	・支援計画に沿った支援が行われているか、適宜スタッフ間で確認していきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・事前のカンファレンスを行っています。	・カンファレンスの時間が限られている為、十分な話し合いが出来にくい時があるのが課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・事後のカンファレンスを行っています。	・しっかりと話し合いが出来ているので、継続して行けるように努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・事務負担軽減のため、ソフトが導入され記録の徹底に努めています。	・支援の検証や改善の共有に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・行っている。	・課題が出たら、その都度検討していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・事前に情報を集約しながら、状況をよく理解した職員が参画するようにしている。	・日程や時間を調整し、担当などこどもの状況をよく理解した者が参加するよう努めます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・関係機関との連携を大事にしています。	・連携をとる際、センター機能としての役割りや立ち位置の共有は必要と感じます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・保育所等訪問支援事業との連携や園の先生の見学等で連携を図っています。 ・併行通園の方がほとんどですが、在宅からの入園や転園の際に必要なに応じて資料提出している。	・引き続き、連携をしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・地域のサポートファイルでの情報提供をしています。	・引き続き、必要な情報提供や相互理解に努めていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	3	・連携が必要だと感じているが、実際は他事業所との連携はあまりとれていません。	・更に努力が必要だと感じます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7		・職員研修でスーパーバイズを受ける機会や外部研修の参加をしています。	・引き続き、必要性を感じます。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	2	・自立支援協議会こども部会への積極的な参加をしている。	・今後も地域とのつながりは必要と感じます。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	・並行通園のため、療育プログラムとしての交流の機会は行っていません。	・必要に応じて検討していきます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		7	・常に保護者の思いに向き合うように努めています。	・保護者との共通理解は必ず必要と感じます。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	・テーマごとの保護者学習会を行なっています。	・もっと参加しやすい工夫がないか検討していきたいです。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		7	・最初の契約時に説明を行なっています。	・ご不明な点がある時には、迅速に対応していきます。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		7	・アセスメントをする際、こごを大事にしています。	・引き続き、継続していきます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		7	・児童発達支援計画を示しながら、保護者には確認してもらった上で同意を頂いています。	・引き続き、継続していきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		7	・普段からよく話を担当者は聞くように心がけています。	・引き続き、継続していきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	1	・保護者会の開催はしています。	・きょうだい児の交流の機会は、出来ていないので今後のニーズを確認しながら検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7		・迅速に対応出来るように努めています。	・今後も、保護者のニーズに応じて対応出来るように努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		7		・39メールを活用し、通信や必要な情報をお届けできるようにしています。	・引き続き、継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		7		・取り扱いには十分に留意しています。	・引き続き、留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		7		・一人一人に合わせた対応を心がけています。	・引き続き、留意していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	4	・年に1度の祭りを開催していますが、地域の方の参加は無い状況です。	・検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7		・職員訓練を行っています。	・引き続き、継続していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		7		・年に2回の訓練を行っています。	・引き続き、継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		7		・アセスメント表の聞き取り項目に入れており、必要に応じて痙攣、発作マニュアルを作成しています。	・引き続き、継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7		・アレルギー調査書を必ず提出してもらっています。	・引き続き、継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		7		・毎月安全点検を行い、月に1度の部署会議でも周知するようにしています。	・引き続き、継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7		・十分ではありません。	・更に努力が必要だと感じます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		7		・ヒヤリハットが起きた場合は速やかに話し合いを行ない、職員間で共有をしています。	・引き続き、継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		7		・虐待防止研修を行なっています。	・引き続き、継続していきます。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・支援計画には載せていないため、必要な場合があれば載せた方がいいと思います。	・計画には載せていないが、事業所としては委員会を設置し、身体拘束について話を行っています。
----	--	---	---	--	---